

●夜の生き物調べ 17日 22人 3万匹

17日の夜の生き物調べのために前日から金田さんや太田さん深田さん森島さんが雨の中、準備をしていただきました。コロナウイルスの関係で検温器の準備やその調整・測定の手順などなれないことがあり、特に白布の張り出しでは毎年苦勞を重ねてきましたので前日に完成させて準備万端、備えていただきました。また、普賢寺小学校へ伺い全校生徒にチラシ配布がされるように手配いただきました。ご父兄がチラシを見て参加申し込みがありました。これまでとは違ってずいぶん下準備が整いました。大変ご苦勞様でした。

当日は雨がやんで少し涼しくなりました。定刻の16時には20人近くが集合していただきました。太田さんの司会で理事長挨拶、スタッフの自己紹介、続いて参加者の皆さんも自己紹介へと進みました。小学生の皆さんは顔なじみのある学校内でなら慣れておられるのですが、見ず知らずの大人に交じっての自己紹介はなかなか勇気のいることだったと思います。本日の経験などは一般の児童たちはこうした機会にはめぐりあうことがないと思います。本日この機会を経験したことはきっとよいものだったと思います。他人の前で口を開き、声を発する機会はそんなにないと思います。次の機会にはきっと立派な自己紹介ができるように成長されると思います。

森島さんが4月ごろにカブトムシの幼虫を移動させて管理されてきた場所でカブトムシを掘り出して、皆さんにお土産として探してくれました。もらった少年はもう有頂天になって喜びを表しておられました。これまで数回開催してきましたが、大型の生き物を手にされたのは今回が最初だと思います。皆さんはきっと大喜びだったと思います、観察塔のトラップでもかなりのカブトムシが集まっていた、映像紹介の準備を進めるとプロジェクターのコードが合わないことがわかり太田さんは里山の会への往復を急遽、行って映像時間に間にあわせていただきました。

ヤマトサンショウウオの監視カメラで撮影されたプログラムに従って進行され、6時に夕食を全員がそろって腹ごしらえをしました。予定では午後11時までとなっています。準備が整ったところで、太田さんが編集された池での撮影を通じた生き物たちの映像でした。昨年も同様の時間を持ちましたが、今年は昨年とは比べ物にならないくらい編集技術が向上していて、皆さん必死で出てくる生き物の姿に引き寄せられた時間でした。まだ宵闇が迫っていませんでしたので森島さんから昆虫クイズやホタルクイズを出されました。景品はなかったのですが次から次へ繰り出される質問に追われて皆さん懸命に考えさせられた時間でした。

夕闇がすっかり深まってきますと方々からたくさんの虫たちが集まってきました。見ているうちにパラパラだった白布にどんどん集まってきて、それはそれはものすごい集団になりました。ケラやニイニイゼミ、カナブンが集まってきました。今年は6回目の開催でしたが、生き物たちの集合状態が異常だと思うくらい昨年と比較にならない集団になっていました。8時になったので、小川さんをお願いして出席者みんなが何匹集まっているのか数を数えるゲームを実施していただきました。高さ2m幅10mの白布に集まってきている虫たちを各人は10cm平方メートルの面積で数えていただきました。集約すると平均20匹となり3万匹の生き物が集まったことになりました。これまでの最高の数量でした。

確認できた範囲で集まった生き物の名前は21種でした。

ニイニイゼミ コバネムシ カメムシ ゲンゴロウ ケラ ハネアリ アブ ウマオイ アシナガバチ
トノサマガエル ザニガニ カブト ノコギリクワガタ カナブン トビケラ ドウガネブイブイ ハナムグラ ガ5種 カゲロウ コオロギ イナゴ バッタ

そうこうしているうちに時間のたつのは早いもので9時30分を超えました。少し子供たちの動きに眠気を感じ、お帰りになるご家族がおられて、10時を過ぎたころに閉会としました。それぞれの皆さんには大変楽しい時間になったようです。あいにく曇り状態でしたが、梅雨の中、恵まれたひと時でした

スタッフの方には前日から参加者のために準備に精を出していただき、ありがとうございました。翌朝にも朝早くから集まって後片付けを行っていただきました。お世話になりました、

●北河原の木津川流域センター 鍵問題 生き物調べの準備のために資材を運び出しに流域センターに行ってみるとインターホンが枚方の管理センターにつながりませんでした。それで門扉が引くことが来ません

でした。木津川出張所に電話してみると「鍵を開けるキーを受け取りに来なさい」ということでまた田辺まで往復することになり随分と時間の無駄になりました。今後はこうしたトラブル解消に前日に確認や手配をきちんと徹底することにしました。

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり チラシ作成と配布について

コロナ対策が解除されたので、随分と動きが活発になりました。8月の夏休みはかなり短くなりましたがその期間に4回の「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」を計画してきました。その開催チラシを山城教育管内木津川沿川の全児童に毎年配布してきました。今年も例年通り準備を進めてきました。チラシの作成から諸準備一切を大釜さんが引き受けていただけることになりました。昨年は一通り経験していただきましたので今年是要領よく進めてくださいました。予想しなかったコロナウイルスという大問題を抱えてのことなので随分と苦勞を掛けましたが、20日21日の二日間で約3万枚ものチラシを市町村教育委員会に配布を行っていただきました。

最も苦勞するのがA3の用紙を二つ折りにしながら各学校の児童数に仕分けをして持ち運びができるように仕分けをすることです。もっとも児童数の多いところは1200枚にもなります。折ってくり揃えること70校以上になりますのでこの作業だけでも二日間の大作業でした。紙折り機の不調もあって、そんなに簡単にできる作業ではありませんでした。各教育委員会への運び込みにはまる二日間かかり、頑張っていた里山の会の太田さん河川レンジャーの大釜さんご苦勞様でした。

●里山農園の一斉草刈り 夜の生き物調べで生き物たちがこれまでの経験を超越する数量が集まった原因の一つに、通路や畑やその他での雑草の刈り取り除草がされていなかったこと。虫たちの住処がなくなっていなかったことが大きな要因ではなかったのかと推察します。前回の一斉除草作業は中の道から南側の草刈りに終わりました。約半分の地域の雑草を刈り取ることができませんでした。梅雨が明けて暑さが増してくると一挙に成長の勢いが増してきます、まさに繁茂して手が付けられなくなります。土用を過ぎるとさらに旺盛になるので今が草刈の最適期なのです、里山農園の一斉草刈り日を設けましたので、できるだけ多くの皆様のご参加をお願い致します。

●木津川希少種植生調査業務 夏草刈り取り 17ヵ所 5558㎡ イヌナズナ フナバラソウ オオバクサフジ レンリソウ メガルカヤ タヌキマメが生育している17ヵ所の草刈りもこの時期に刈り取っておかないとクズなどの繁茂、ヨシの繁茂が始まります。この時期の刈り取りはまさに最適期なのです。木津川希少種の維持管理保全にはなくてはならない作業です。刈草の集積も急がなくてはなりません。暑くなると枯れるのも早く、しかし一方ではすぐに芽出しも早く刈草の除去も手早く実行しなければなりません、希少植物の維持保全に皆様のご協力をお願いします。

●中聖牛の木材の入荷日 8月3日ごろと決定

今年で4回目となる中聖牛の組み立てになりますので、里山の会の自力で組み立ててみよう計画しています。できるだけ早く実行してみることにして木材の入荷をお願いしました。滋賀中央森林組合さんが快く引き受けていただくことになりました。7mに及ぶ棟木が最大のものですが、入荷次第組み上げてみたいと思います。また9月に入ると蛇籠の制作にも相当時間がとられることになりますのでいち早く試行して欲しいと思います。積極的なご協力をお願いします。

●中聖牛設置はどの取組の狙いについて竹門先生からいただいた説明文を掲載しています。

ご理解いただき、ご協力をお願い致します

●18《一般研究3年目の目標の概略》

木津川20Kp付近に設置した伝統的河川工法が河岸浸食の抑制や砂洲上に側流路を形成・維持させる機能を発揮できたかどうかをモニタリングによって評価することを目標とする。さらに、生物相の経年変化を調査することによって、この地点の河川生態系に対して与えた影響についても評価することも目標とする。さらに15-6Kpの試験施工現場のモニタリングも行い、4年後及び6年後の変化を分析する。